

2019年度 環境活動レポート

(2019年4月~2020年3月)

《本社事務所》

《建設現場》



2020年8月25日

大阪装置建設株式会社



環境省
エコアクション21

認証・登録番号0002133

■ 事業活動の概要

- 1) 事業所名 大阪装置建設株式会社
- 2) 代表者 代表取締役 清水保弘
- 3) 所在地 本社 大阪市西淀川区姫島3-11-27
- 4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
 責任者 環境管理責任者 河井青史
 担当者 EA21事務局 河井青史
 連絡先 Tel.06-6477-9321 Fax.06-6477-9176
- 5) 事業の内容 都市ガス工事をはじめ、各種プラント建設、エネルギー設備、
 燃焼設備、水門、高層煙突等の設計製作・現地工事を行っています。
- 6) 事業の規模 ① 資本金 50百万円
 ② 設立 昭和26年9月
 ③ 従業員 84名
 ④ 床面積 5,538㎡
 ⑤ 売上高 3,032百万円（令和元年度）

■ 対象範囲

- 1) 認証・登録範囲 ① 登録組織名 大阪装置建設株式会社
 ② 活動内容 都市ガス配管工事、各種産業機械据付工事
- 2) レポートの対象期間及び発行日等
 ① 対象期間 平成31年4月～令和元年3月
 ② 発行日 令和2年8月31日
 ③ 対象組織と活動内容 認証登録範囲と同じ

■ 主要な環境負荷排出量（CO₂総排出量、廃棄物総排出量、総排水量）

		2017年度	2018年度	2019年度
CO ₂ 総排出量 (kg-CO ₂)	本社事務所	139,368	128,828	121,219
	建設現場	126,528	133,255	120,831
	計	265,896	262,083	242,050
廃棄物総排出量 (t)	本社事務所	4	3	3
	建設現場	2,291	714	641
	計	2,295	717	644
総排水量 (m ³)	本社事務所	1,421	1,147	1,242
	建設現場	0	0	0
	計	1,421	1,147	1,242

* 購入電力のCO₂排出係数は、2015年度(株)新出光の調整後排出係数0.400kg-CO₂/kwhを使用。

環境経営方針

大阪装置建設株式会社は、建設・設備事業等を行う総合エンジニアリング企業としての活動が、地域及び地球環境に与える影響に配慮し、環境問題に積極的に取り組み、持続可能な循環型社会を目指し以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

- 1 事業活動に関わる環境関連の法規・条例及び大阪ガス株をはじめとする顧客の環境方針の要請事項を含むその他の要求事項を遵守します。
- 2 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - 1) 省エネルギーと温暖化ガスの発生抑制に努めます。
 - 2) 省資源の促進を図ります。
 - 3) 廃棄物の削減及び適正処理に努めます。
 - 4) 節水の推進を図ります。
 - 5) 設備工事による環境負荷削減に努めます。
 - 6) 周辺地域に対する環境改善に努めます。
 - 7) 化学物質の適正管理に努めます。
- 3 この環境方針は、全従業員に周知します。

2019年4月1日

大阪装置建設株式会社

代表取締役社長 清水 保弘

環境目標とその実績等(全社)

①環境負荷低減目標(環境目標設定)とその実績値

項目	2018年度 実績	2019年度 目標	2019年度 実績	2020年度 目標	2021年度 目標	2023年度 目標
電力使用量の削減 (kWh)	163,039	220,095	150,687	217,826	215,557	211,019
都市ガス使用量の削減 (Nm ³)	12,824	15,829	12,334	15,655	15,481	15,133
ガソリン消費量の削減 (L)	63,585	80,610	62,063	79,714	78,819	77,026
軽油消費量の削減 (L)	8,223	5,586	4,155	5,524	5,462	5,338
CO ₂ 排出量の削減 (kg-CO ₂) *1	262,083	295,804	242,050	292,615	289,425	283,048
一般廃棄物単純焼却量の削減 (kg)	684	1,529	676	1,513	1,497	1,464
産業廃棄物排出量の削減 (t) *2	714	707	641	700	693	678
水使用量の削減 (m ³)	1,147	1,840	1,242	1,819	1,799	1,758
コピー用紙購入量の削減 (kg)	1,653	3,670	1,688	3,628	3,587	3,506
化学物質の適正管理 (%) *3	100	100	100	100	100	100
環境配慮型設備工事の推進(kW) *4	7,300	1,120	7,800	1,130	1,140	1,160
周辺地域清掃活動の推進 (回)	12	12	12	12	12	12

*1 購入電力のCO₂排出係数は、2015年度(株)新出光の調整後排出係数0.400kg-CO₂/kwhを使用。

*2 コンクリート塊、As・Co塊、建設混合物

*3 使用化学物質の使用量を把握し、その中で当該化学物質に含有するPRTR法(化管法)の対象物質の量をSDSを基に算定把握しているが、算定把握対象物質数に対する実施数割合を%で表示。

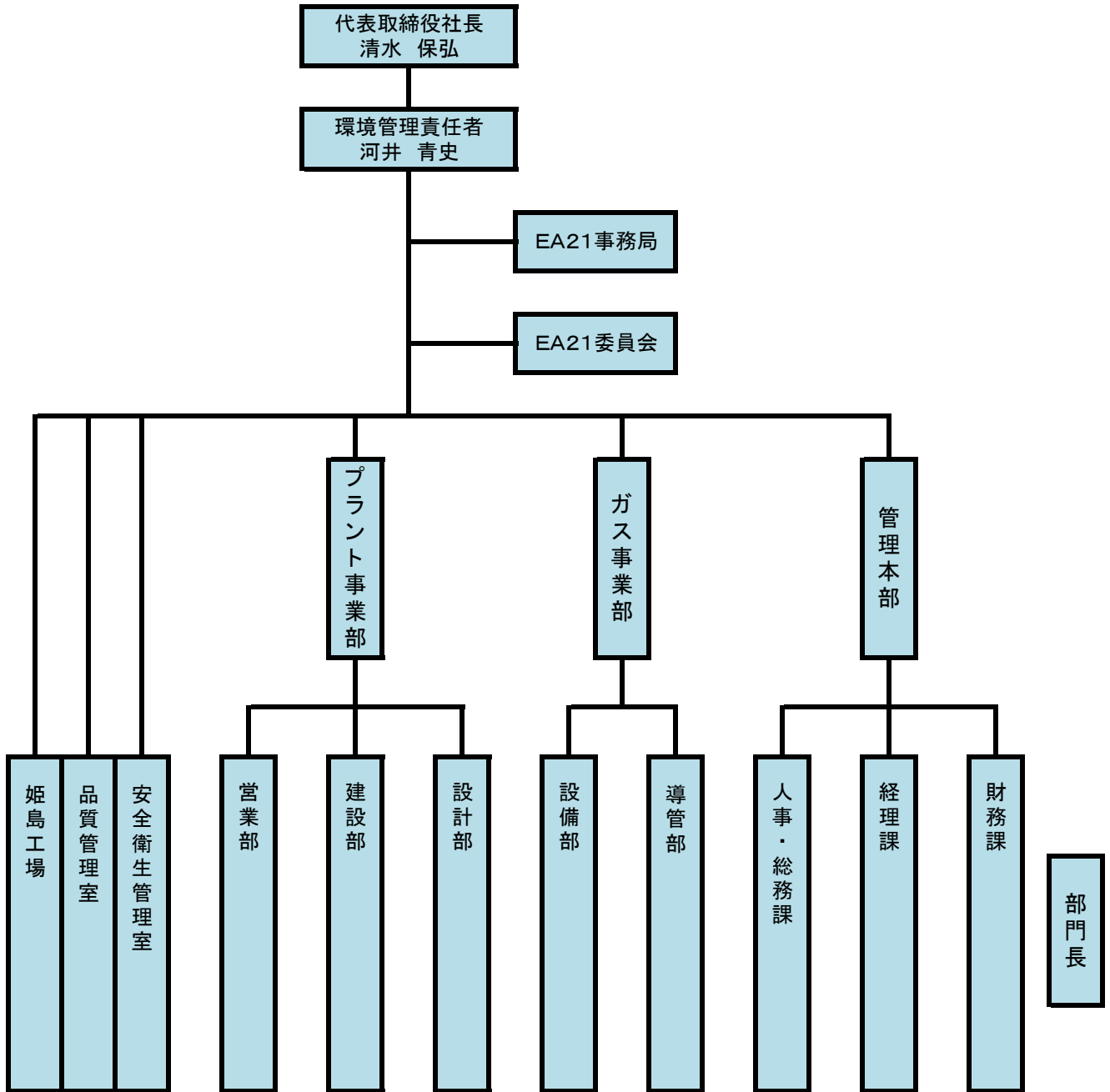
*4 コージェネレーション設備定格発電出力

2019年度 環境活動レポート

《本社事務所》

(2019年4月~2020年3月)

1. 大阪装置建設株式会社(事務所) EA21組織表



2. 環境目標とその実績等

①環境負荷低減目標(環境目標設定)とその実績値

項目	2018年度 実績	2019年度 目標	2019年度 実績	2020年度 目標	2021年度 目標	2023年度 目標
電力使用量の削減 (kWh)	163,039	220,095	150,687	217,826	215,557	211,019
都市ガス使用量の削減 (Nm ³)	12,824	15,829	12,334	15,655	15,481	15,133
ガソリン消費量の削減 (L)	15,293	16,976	14,601	16,787	16,599	16,221
CO ₂ 排出量の削減 (kg-CO ₂) *1	128,828	140,475	121,219	139,012	137,548	134,622
一般廃棄物単純焼却量の削減 (kg)	684	1,529	676	1,513	1,497	1,464
水使用量の削減 (m ³)	1,147	1,840	1,242	1,819	1,799	1,758
コピー用紙購入量の削減 (kg)	1,653	3,670	1,688	3,628	3,587	3,506
化学物質の適正管理 (%) *2	100	100	100	100	100	100
周辺地域清掃活動の推進 (回)	12	12	12	12	12	12

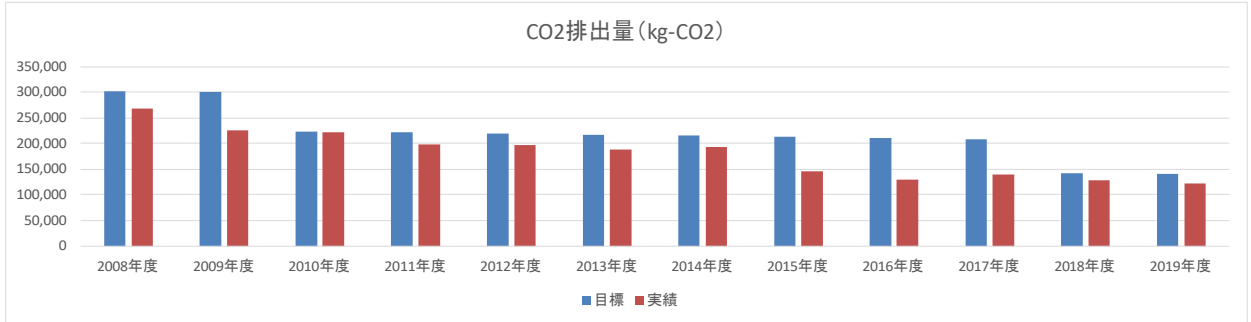
*1 購入電力のCO₂排出係数は、平成27年度(株)新出光の調整後排出係数0.400kg-CO₂/kwhを使用。

*2 使用化学物質の使用量を把握し、その中で当該化学物質に含有するPRTR法(化管法)の対象物質の量をSDSを基に算定把握しているが、算定把握対象物質数に対する実施数割合を%で表示。

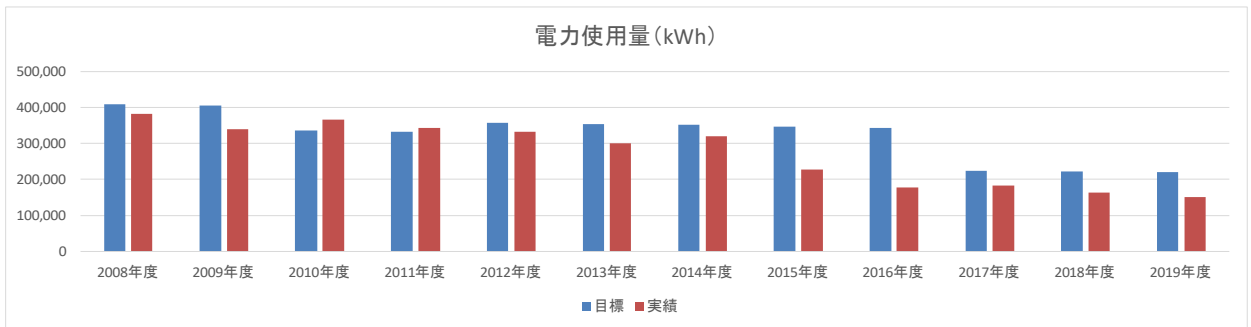
②主要な環境負荷排出量

項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	目標	301,553	300,022	224,328	222,062	219,796	217,530	215,264	212,998	210,732	208,466	141,938	140,475
	実績	268,227	226,594	222,441	198,900	197,504	188,180	193,356	146,328	130,312	139,368	128,828	121,219

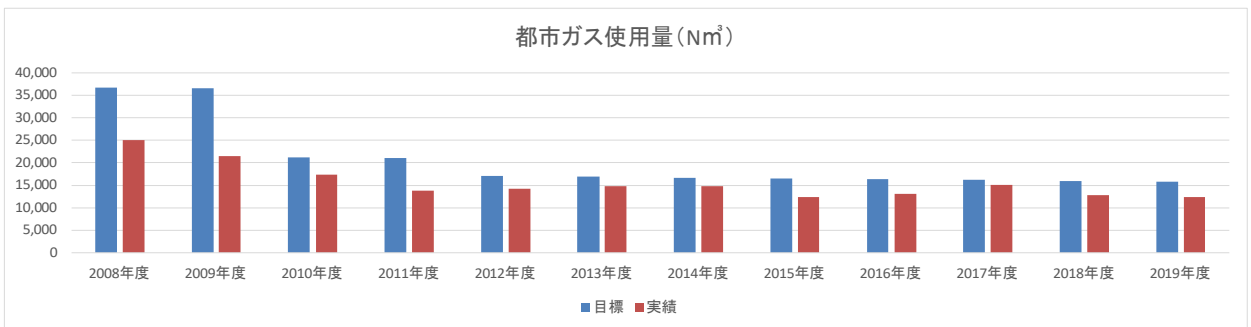
* 購入電力のCO₂排出係数は、平成27年度嶺新出光の調整後排出係数0.400kg-CO₂/kwhを使用。



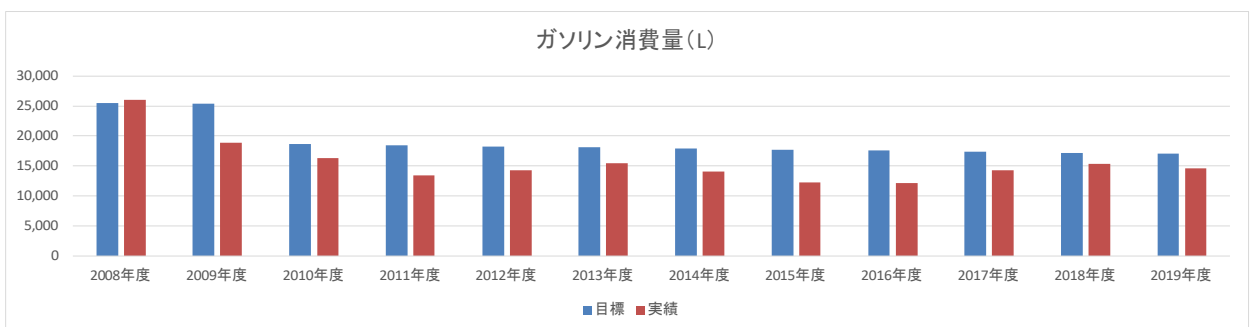
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
電力使用量 (kWh)	目標	408,081	406,009	335,855	332,462	358,050	354,396	350,743	347,089	343,436	224,633	222,364	220,095
	実績	382,218	339,247	365,357	342,707	332,191	299,913	320,351	226,902	177,632	183,286	163,039	150,687



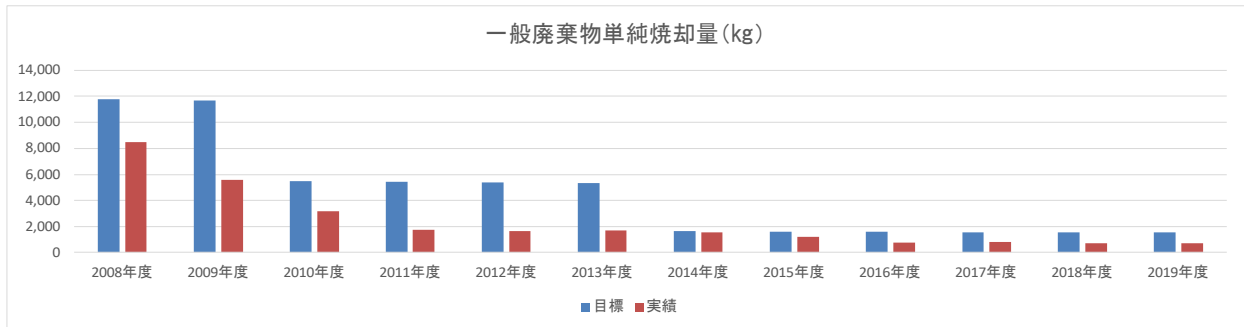
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
都市ガス使用量 (Nm ³)	目標	36,653	36,467	21,210	20,996	17,046	16,872	16,698	16,524	16,350	16,176	16,002	15,829
	実績	25,014	21,424	17,394	13,866	14,299	14,726	14,764	12,298	13,109	15,084	12,824	12,334



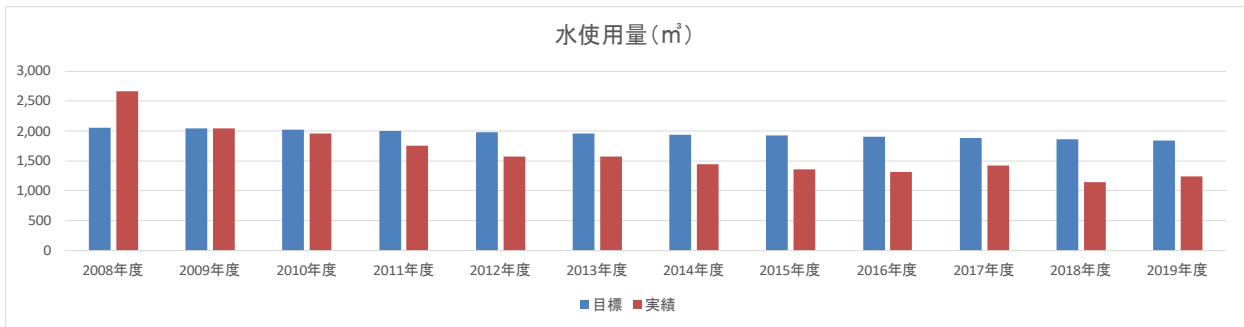
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
ガソリン消費量 (L)	目標	25,469	25,340	18,673	18,485	18,296	18,108	17,919	17,730	17,542	17,353	17,164	16,976
	実績	25,999	18,862	16,345	13,411	14,273	15,437	14,118	12,269	12,117	14,216	15,293	14,601



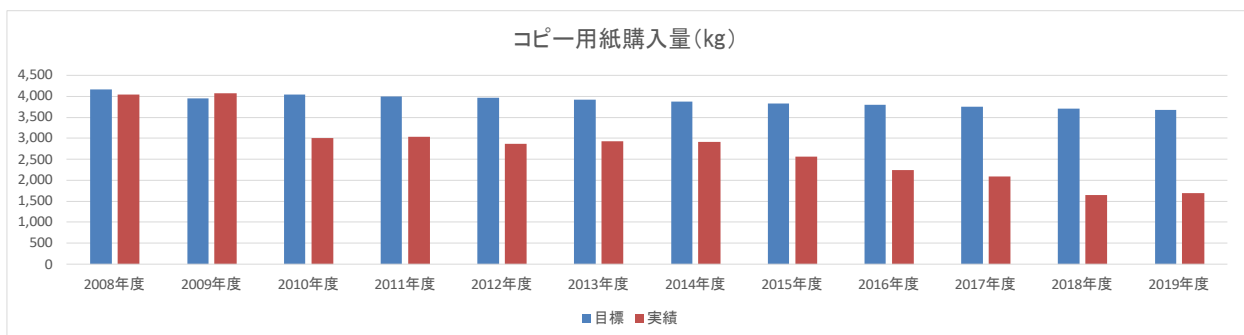
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
一般廃棄物単純焼却量(kg)	目標	11,753	11,693	5,487	5,431	5,376	5,320	1,611	1,594	1,578	1,562	1,546	1,529
	実績	8,482	5,542	3,178	1,738	1,627	1,692	1,531	1,177	744	780	684	676



項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
水使用量(m ³)	目標	2,055	2,044	2,024	2,003	1,983	1,962	1,942	1,921	1,901	1,880	1,860	1,840
	実績	2,672	2,044	1,964	1,753	1,574	1,574	1,450	1,356	1,322	1,421	1,147	1,242



項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
コピー用紙購入量(kg)	目標	4,170	3,951	4,037	3,995	3,955	3,914	3,873	3,832	3,792	3,751	3,710	3,670
	実績	4,031	4,077	2,999	3,032	2,870	2,929	2,914	2,552	2,241	2,098	1,653	1,688



3. 主要な環境活動計画の内容

	取組項目	活動計画の内容
CO ₂ の排出量の削減のために	電力使用量の削減	省エネ照明器具の設置 昼食時及び不使用区画の消灯
	都市ガス使用量の削減	夏季冷房温度設定27℃ 冬季暖房温度設定21℃ エアコンフィルターの清掃
	ガソリン消費量の削減	エコドライブの徹底 車両台数の削減 低燃費車の導入
	一般廃棄物単純焼却量の削減	分別収集の徹底 リサイクルへの転用
	水使用量の削減	節水の徹底 漏水点検の実施(月1回)
	コピー用紙購入量の削減	両面印刷(コピー)の励行 コピー用紙の裏紙使用 メール・社内LANの有効利用によるペーパーレス化の促進 プロジェクターの使用による会議資料の削減 FAXのPCによる使用
	化学物質の適正管理	PRTR法対象化学物質使用量の把握とその化学物質の適正管理
	周辺地域清掃活動の推進	月1回実施

主要な環境活動のご紹介（本社事務所編 ①）



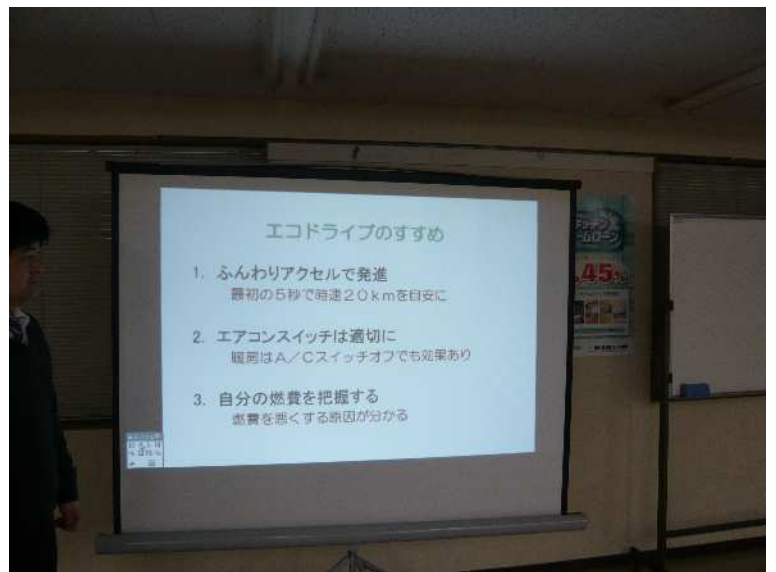
昼食時及び不使用部屋の消灯

事務室は、昼休みの1時間及び終業後、残業者がいない区画について消灯しています。

又、会議室やトイレなども使用していないときは消灯するようにしています。

エコドライブの推進

エコドライブについての研修会を行い、社有車を運行する者に対してエコドライブの実施方法や実施による効果について教育しています。



分別収集の徹底・リサイクルへの転用

事務所で13種類、工場で15種類のごみ箱・回収ボックスを設置し、分別収集の徹底を図っています。

分別した廃棄物のうち、リサイクルできるものについては、処理業者にリサイクル処理を委託しています。

主要な環境活動のご紹介（本社事務所編 ②）



コピー用紙の裏紙使用

裏面白紙の使用済みコピー用紙を入れる専用ボックスをプリンター、コピー機周りの設置し、文書のプリントアウトやコピーをする際に裏紙を使用するよう促進しています。

周辺地域清掃活動の促進

エコアクション21の取組を開始以来、毎月欠かさず会社周辺の清掃活動を実施しています。



その他（環境配慮商品の販売：取組項目外） （エネファーム、エコジョーズの販売）

大阪ガス住設機器特約店として、都市ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させることで発電し、その廃熱で作ったお湯を給湯や暖房に使える家庭用ガスコージェネレーションシステム「エネファーム」や通常は捨てられる排熱をお湯づくりなどに再利用する高効率ガス給湯器「エコジョーズ」の販売を促進しています。



エネファーム



エコジョーズ

4. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組

取組計画	結果	評価、今後の取組
電力使用量の削減	削減計画達成率＝131.5% 事務所照明をLEDに変更した効果が出た。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
都市ガス使用量の削減	削減計画達成率＝122.1% 空調設定温度の厳守を周知徹底した効果が出た。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
ガソリン消費量の削減	削減計画達成率＝114.0% 公共交通機関の利用を呼び掛けた効果が出た。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
CO ₂ 排出量の削減	削減計画達成率＝113.7% CO ₂ 排出量算出に係るすべての項目で目標値をクリアできた。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
一般廃棄物単純焼却量の削減	削減計画達成率＝155.8% 紙廃棄物のリサイクル分別率が向上した。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
水使用量の削減	削減計画達成率＝132.5% 植木への散水を必要最低限に留めたことにより目標値をクリアできた。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
コピー用紙購入量の削減 管理	削減計画達成率＝86.7% 社内説明会用文書の作成量が増えた。	[評価：×] 現在の取組の再周知を徹底する。
コピー用紙購入量の削減 ガス	削減計画達成率＝162.4% モバイルデバイスの活用により、資料の印刷枚数が減少した。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
コピー用紙購入量の削減 プラント	削減計画達成率＝146.6% 書類のデータ保存が常態化し、ペーパーレス化が進んだ。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
化学物質の適正管理	達成率＝100.0% PRTR法の要求事項を満たしていることを確認した。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
周辺地域清掃活動の推進	達成率＝100.0% 事務所清掃日に合わせて実施することにより、習慣として行っている。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。

注) 削減計画達成率(%)＝{1＋(1－実績／目標)}×100

5. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

1) 主な法規制等と遵守状況の確認及び評価結果

法規等の名称	遵守すべき事項	適・否
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	産業廃棄物マニフェストの返送管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 廃棄物処理委託契約書・許可証の確認 産業廃棄物置場の管理基準の遵守(水銀使用製品産業廃棄物置場の確保と掲示含む)	適
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	家電リサイクル券の受取確認	適
消防法	防火管理者の設置 消防設備点検の実施	適
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	簡易点検の実施・記録・保存(特定製品廃棄後3年まで) 専門家による定期点検の実施・記録・保存(特定製品廃棄後3年まで) フロン類を使用する特定製品の廃棄時に登録事業者にフロン類の回収を委託(引取証明証、回収証明証の受取確認)	適
地球温暖化対策の推進に関する法律	エコアクション21環境経営システムの運用によるCO ₂ 排出量削減等	適
資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)	廃パソコンの再資源化回収業者への引渡し	適
騒音規制法	規制規準を遵守する。届出施設の届出(大阪府条例)	適
振動規制法	規制規準を遵守する。届出施設の届出(大阪府条例)	適
化学物質排出把握管理促進法(PRT法)	化学物質使用量の把握	適
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)	フォークリフトへの基準適合ラベル貼付と定期検査、日常点検の実施	適
労働安全衛生法	化学物質リスクアセスメントの実施	適
大阪府生活環境の保全に関する条例	条例に基づく届出施設の届出(騒音、振動)	適
Daigasグループ環境行動基準	環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供(環境配慮型商品の提供)	適

* 環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はなかった。

2) 違反・訴訟等の有無

自社における環境関連法規への違反はありません。

過去3年間、関係当局から違反等の指摘はありません。

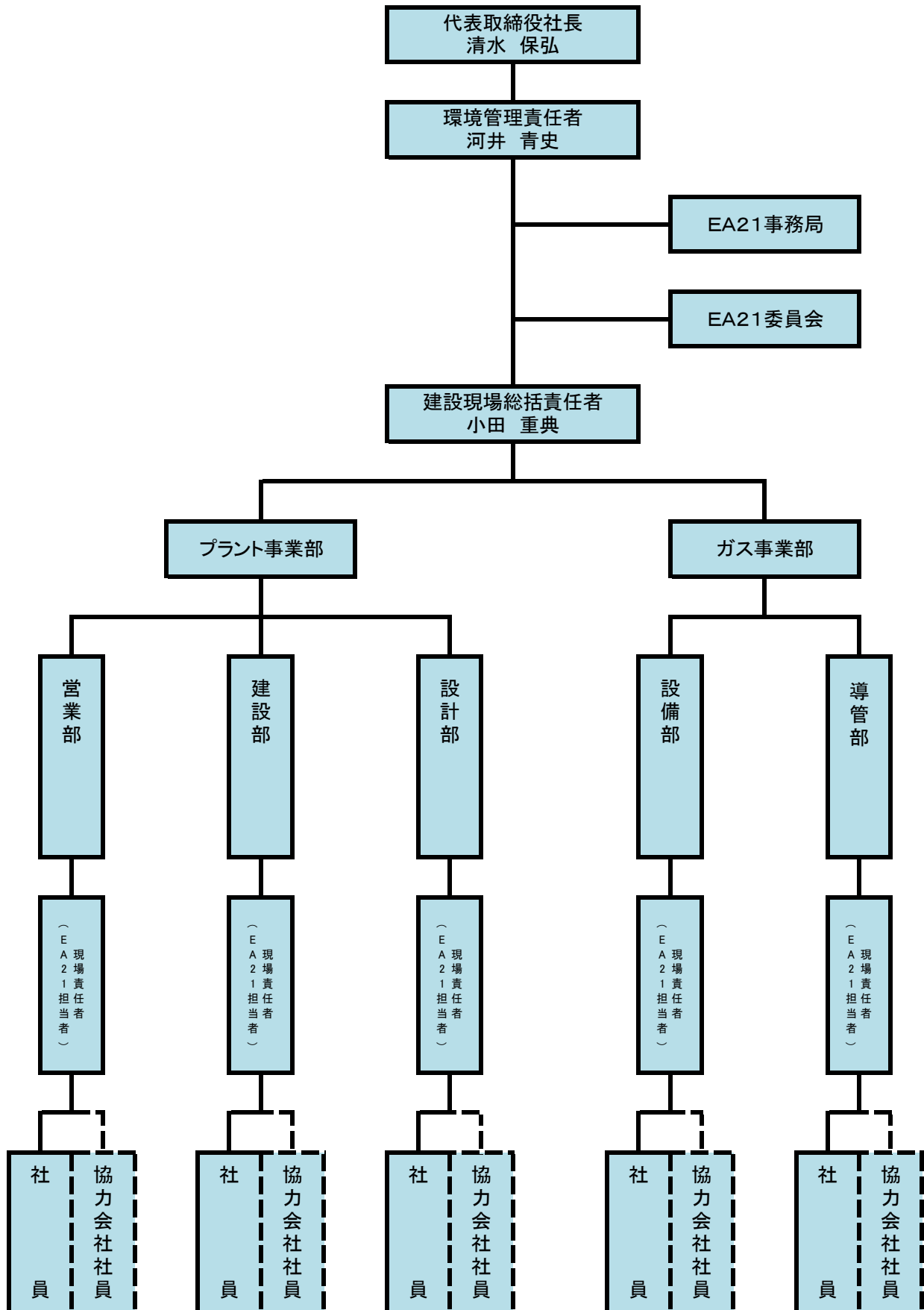
訴訟等もありませんでした。

2019年度 環境活動レポート

《建設現場》

(2019年4月~2020年3月)

1. 大阪装置建設株式会社(建設現場) EA21組織表



2. 環境目標とその実績等

①環境負荷低減目標(環境目標設定)とその実績値

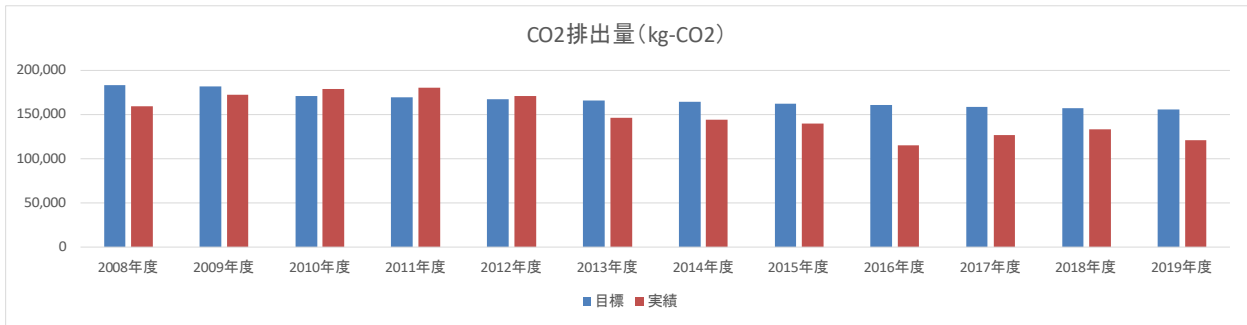
項目	2018年度 実績	2019年度 目標	2019年度 実績	2020年度 目標	2021年度 目標	2023年度 目標
ガソリン消費量の削減 (L)	48,292	63,634	47,462	62,927	62,220	60,805
軽油消費量の削減 (L)	8,223	5,586	4,155	5,524	5,462	5,338
CO ₂ 排出量の削減 (kg-CO ₂)	133,255	155,329	120,831	153,603	151,877	148,426
産業廃棄物排出量の削減 (t) ※1	714	707	641	700	693	678
環境配慮型設備工事の推進(kW) ※2	7,300	1,120	7,800	1,130	1,140	1,160

※1 コンクリート塊、As・Co塊、建設混合物

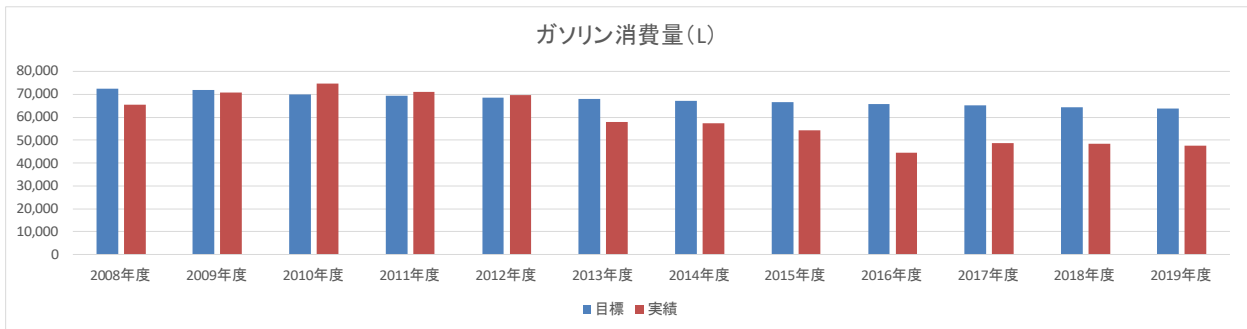
※2 コージェネレーション設備定格発電出力

②主要な環境負荷排出量

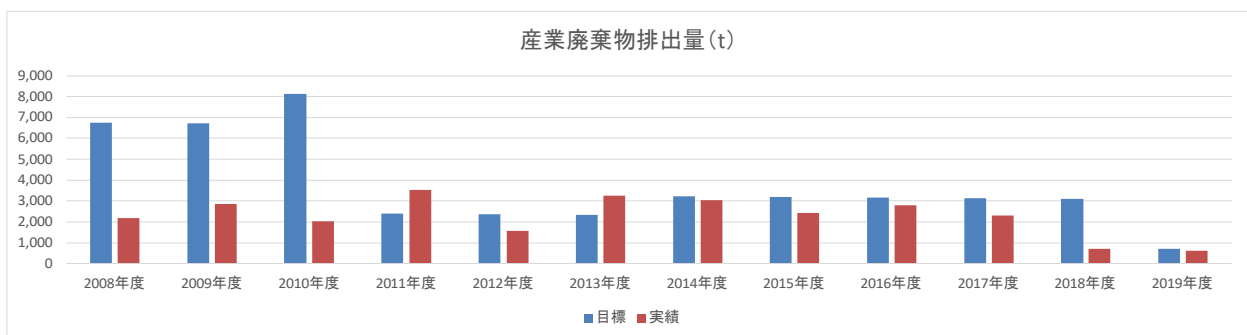
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	目標	182,689	181,762	170,862	169,136	167,410	165,684	163,959	162,233	160,507	158,781	157,055	155,329
	実績	159,358	172,328	178,932	180,761	170,741	146,063	144,116	139,651	115,335	126,528	133,255	120,831



項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
ガソリン消費量 (L)	目標	72,239	71,872	69,997	69,290	68,583	67,876	67,169	66,462	65,755	65,048	64,341	63,634
	実績	65,446	70,704	74,489	71,012	69,403	57,818	57,347	54,084	44,528	48,772	48,292	47,462



項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
産業廃棄物排出量 (t)	目標	6,744	6,710	8,119	2,385	2,361	2,337	3,227	3,195	3,162	3,130	3,097	707
	実績	2,171	2,846	2,021	3,522	1,562	3,260	3,040	2,431	2,801	2,291	714	641



3. 主要な環境活動計画の内容

	取組項目	活動計画の内容
C O 2 の排出量の削減のために	ガソリン消費量の削減	エコドライブの徹底 車両台数の削減 低燃費車の導入
	軽油消費量の削減	エコドライブの徹底
	産業廃棄物排出量の削減 ※1	非開削工法の推進 掘削幅を可能な限り狭くする
	環境配慮型設備工事の推進 ※2	コージェネ設備工事の推進

※1 コンクリート塊、As・Co塊、建設混合物

※2 コージェネレーション設備定格発電出力

主要な環境活動のご紹介（建設現場編 ①）



非開削工法の推進 （パイプスプリッター工法）

道路下の既設管路を利用した非開削のガス管入替工法です。
ガス管入替区間の両端を掘削し、発進立坑から到達立坑へロッドを挿入します。ロッドの先端にプレート（縦切りカッター）を接続し、さらにその後新しいPE管を接続して発進立坑側に引き戻すことにより、プレートがネジ鋼管を管内から縦切り・拡径したトンネル内に、PE管を引き込むことによりガス管を入れ替えます。

非開削工法の推進 （コンパクトモール工法）

道路下に非開削でガス管を敷設する工法です。
発進立坑側にコンパクトな推進機を据付け、推進ロッドを順次継ぎ足しながら、ロッド回転により到達側立坑まで推進させます。推進到達後、そのロッド先端にPE管を接続しロッドを引き戻しながらPE管を引き込みます。



非開削工法の推進 （SPモール工法）

ガス引込み管（SP：供給管）の入れ替えを非開削で行う工法です。
電動式SPモール本体、電動油圧ポンプ、推進ロッド等の簡単な装置で行える非開削敷設工法です。油圧の強い力でロッドを推進させた後、ロッドの先端にPE管を接続し、電動式SPモール本体を引き込み方向に置き換え、到達立坑から発進立坑までPE管を引き込みます。

主要な環境活動のご紹介（建設現場編 ②）



掘削幅を可能な限り狭くする

掘削による土砂やコンクリートがらの排出量を抑えるために、可能な限り掘削幅を狭く施工しています。

低騒音機器の使用

施工時に使用する機器等の騒音について、周辺住民への影響を緩和するため、低騒音機器を使用しています。



コージェネレーション設備の施工

クリーンな天然ガスを用いて発電し、その際に発生する排熱を冷暖房や給湯などに無駄なく利用する省エネルギーシステムであるコージェネレーション設備の設計・施工を行っています。

4. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組

取組計画	結果	評価、今後の取組
ガソリン消費量の削減	削減計画達成率=125.4% エコドライブの励行を呼び掛けた効果が出た。	[評価:○] 現在の取組みを継続する。
軽油消費量の削減	削減計画達成率=125.6% 近距離現場を優先的に受注したことにより、軽油消費量も抑制できた。	[評価:○] 現在の取組みを継続する。
CO ₂ 排出量の削減	削減計画達成率=122.2% ガソリン消費量、軽油消費量が共に減少によりCO ₂ 排出量の目標値をクリアした。	[評価:○] 現在の取組みを継続する。
産業廃棄物排出量の削減	削減計画達成率=109.3% 部門廃止に伴い工事数が減少し、廃棄物排出量も減少した。	[評価:○] 現在の取組みを継続する。
環境配慮型設備工事の推進	達成率=696.4% 9月に、大津板紙(株)、(株)日世のソージェネ設備工事を完工した。	[評価:○] 現在の取組みを継続する。

注) 削減計画達成率(%) = {1 + (1 - 実績 / 目標)} × 100

5. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

1) 主な法規制等と遵守状況の確認及び評価結果

法規等の名称	遵守すべき事項	適・否
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	産業廃棄物マニフェストの返送管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 廃棄物処理委託契約書・許可証の確認	適
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	発注者への報告 分別解体の徹底により、種類に応じた最終施設への適正な搬出	適
道路法	基準に適合した埋め戻しの実施による道路環境保全	適
地球温暖化対策の推進に関する法律	エコアクション21環境経営システムの運用によるCO ₂ 排出量削減等	適
騒音規制法	規制規準を遵守する(建設工事に伴う騒音対策)	適
振動規制法	規制規準を遵守する(建設工事に伴う振動対策)	適
Daigasグループ環境行動基準	環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供(掘削残土削減: 非開削工法の推進)	適

* 環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はなかった。

2) 違反・訴訟等の有無

自社における環境関連法規への違反はありません。
過去3年間、関係当局から違反等の指摘はありません。
訴訟等もありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果

〔環境方針について〕

取組重点項目から、「グリーン購入の推進」を削除した。(2017年版ガイドラインにおいて、要求事項から削除されたため。)

今後も、ガイドラインの改訂情報を注視しつつ、企業理念及び事業活動と整合させること。

〔組織について〕

2019年5月29日付で代表取締役社長に就任した清水保弘が、EA21に関する全ての責任と運用についての権限を持つこととする。

今後も、必要があれば組織の改正を行い、環境への取組を実施するために効果的な実施体制の構築を目指すこと。

〔環境目標とその実績について〕

「コピー用紙購入量の削減 管理」の項目について、目標値をクリアすることができなかった。

原因としては、就業規則改訂等説明会のレジメや各種会議資料を印刷・配布したことが考えられる。

今後は、会議資料等のペーパーレス化をより一層推進し、コピー用紙購入量の削減に努めること。

〔環境関連法規等への対応について〕

当社の事業に係る環境関連法規については、確実な対応がなされている。

今後も、改正及び新たに交付される環境関連法規について情報を収集すること。

〔今後の環境活動について〕

今年度は大規模な設備改善を実施できなかったが、来年度は空調設備の入替等を視野に入れ、大幅な環境負荷の低減を目指す。

また、クリーンな天然ガスを用いて発電し、その際に発生する排熱を冷暖房や給湯などに無駄なく利用する省エネルギーシステムであるコージェネレーション設備や、廃棄物を効率よく無害化する焼却・リサイクル設備などの設計・施工を推進し、環境経営の確立を目指す。

以上